

安全データシート

インク&テープ リムーバー

1. 化学品及び会社情報

1.1. 製品情報

製品形態 混合物
製品名 インク&テープ リムーバー
製品番号 CSR xxx

1.2. 適用

物質/混合物の使用 インク&テープ リムーバー/即時使用可能

1.3. 会社情報

Case Medical Inc.
50 West St.
Bloomfield, NJ07003
USA
Tel: 201-313-1999
Fax: 201-373-9090
www.casemed.com
info@casemed.com

1.4. 緊急連絡先 CHEMTREC +1-800-424-9300

2. 危険有害性の要約

2.1. 分類

GHS-US 分類

可燃性、液体、3 H226
眼刺激性、カテゴリー2A H319

危険有害性情報の詳細:16 章参照

2.2. ラベル要素

GHS-US ラベル

ピクトグラム (GHS-US)



注意喚起語：警告

危険有害性情報：H227 - 引火性液体

H319 - 眼刺激

注意書き：

- P210-熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。禁煙。
- P233-容器を密閉しておくこと。
- P240-容器を接地しアースを取ること。
- P241-防爆型の【電気機器/換気装置/照明機器】を使用すること。
- P242-火花を発生させない工具を使用すること。
- P243-静電気放電に対する措置を講ずること。
- P261-蒸気、ミスト、スプレーを吸入しないこと。
- P264-取扱い後は手、前腕、その他暴露した箇所を念入りに洗うこと。
- P272-汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- P273-環境への放出を避けること。
- P280-保護手袋、保護衣、保護眼鏡を着用すること。
- P303+P361+P353-皮膚（もしくは頭髮）と接触した場合；汚染された着衣を即座に脱ぐ。水/シャワーで皮膚を洗い流すこと。
- P321-特別な処置が必要である（本 SDS の 4 章参照）。
- P333+P313-皮膚刺激又は発疹が生じた場合、医師の診断/手当を受けること。
- P362+P364-汚染された着衣を脱ぎ、再使用する前に洗うこと。
- P370+378-火災時；消火のために、適切な手段を使用すること（5 章参照）
- P391-漏出物を回収すること。
- P403+P235-換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
- P501-内容物/容器を国際/国/地方自治体の規則に従って廃棄すること。

2.3. その他危険有害性

暴露することにより、既に存在する目、皮膚又は呼吸器疾患を悪化させる恐れがある。

2.4. 未知の急性毒性(GHS-US)

データなし

3. 組成及び成分情報

3.1. 物質

非該当

3.2. 混合物

名称	製品識別	%
イソプロピリデングリセロール	(CAS-No.) 100-79-8	90-100

危険有害性情報の詳細:16章参照

4. 応急措置

4.1. 応急措置の説明

一般的な応急措置

意識がない場合、食べ物や飲み物を与えない。具合が悪い場合、直ちに医師に連絡する。

吸入した場合

症状が認められる場合、新鮮な空気のある場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。

呼吸困難が認められる場合は直ちに医師に連絡する。

皮膚に付着した場合

汚染された衣服を速やかに脱ぐ。皮膚刺激又は発疹が認められる場合、直ちに医師に連絡する。汚染された皮膚を速やかに少なくとも15分間水で洗い流す。

目に入った場合

眼をすすぐ前に忘れずにコンタクトレンズを外す。注意しながら少なくとも15分間水で目をすすぐ。医師に連絡する。

飲み込んだ場合

すぐに口をすすぐ。嘔吐を促してはいけない。医師に連絡する。

4. 2. 急性及び遅発性の最も重大な兆候と影響

徴候/損傷：皮膚感作。皮膚刺激の原因となる。

吸入した後の徴候/損傷：長時間の暴露は刺激の原因となる。

皮膚に接触した後の徴候/損傷：アレルギー性の皮膚反応、赤み、痛み、腫れ、かゆみ、ヒリヒリ感、乾燥、皮膚炎を引き起こす場合がある。

目に入った後の徴候/損傷：目にわずかな刺激が生じる場合がある。

飲み込んだ後の徴候/損傷：有害作用を引き起こす場合がある。

慢性的な徴候：情報なし

4. 3. 即座の治療、特別な手当が求められる目安

暴露した場合、医師の診断、治療を受ける。医師の診断を受ける際、製品の容器又はラベルを手元に用意する。

5. 火災時の措置

5. 1. 消火剤

適切な消火剤：水スプレー、多目的パウダー、水性被膜形成泡

不適切な消火剤：消火ホースは、延焼を引き起こす可能性があるので使用しない。

5. 2. 化学物質又は混合物に起因する特別な危険有害性

火災の危険：可燃性液体。密閉された容器内の圧力は、熱の影響により高まる可能性がある。

反応性：通常の温度、圧力下において安定している。

5. 3. 消防士へのアドバイス

火災に対する準備：化学物質に起因する火災に対し十分用心する。

消火活動手順：炎にあたっている容器を冷やす為、水スプレー又はフォグを使用する。大火災の場合、非難する。爆発の危険を避ける為、離れて消火活動を行う。

消火活動中の防護：呼吸を補助する装備を含む、適切な保護具なしで、火災エリアに入っ

てはいけない。

その他情報：消火活動中、水源に入らないようにする。

6. 漏出時の措置

6.1. 個人的な予防措置、保護具および緊急時の手順

一般的な対策：呼吸（蒸気、ミスト、スプレー）を避けてください。目に入ったり、皮膚や衣類に付着しないように注意してください。熱、高温の表面、火花、裸火、その他の発火源から遠ざけてください。禁煙。静電気の帯電を避けるために特別な注意を払ってください。

6.1.1. 緊急時以外のスタッフ向け

保護具：適切な個人用保護具（PPE）を使用してください。

緊急手順：不要な人員を避難させます。安全であれば漏出を止めてください。

6.1.2. 救急隊員向け

保護具：適切な保護具を装備してください。

緊急時の手順：現場に到着したら、初期対応者は危険物の存在を認識し、自分自身と一般人を保護し、エリアの安全を確保します。状況が許せばすぐに訓練を受けた職員の援助を求めます。エリアを換気してください。発火源を排除してください。

6.2. 環境に関する注意事項

流出物を回収します。下水道や公共水域への流入を阻止します。環境への放出を避けてください。

6.3. 封じ込めと浄化のための方法と材料

封じ込めの場合：流出物を堤防や吸収剤で封じ込め、下水道や河川への移動や侵入を防ぎます。緊急の予防措置として、流出または漏出エリアをあらゆる方向から隔離してください。

浄化方法：流出物を不活性物質で吸収および/または封じ込めます。こぼれた物質は適切な容器に移して廃棄してください。おがくずやセルローズ系材料などの可燃性物質に入れないでください。火花が出ない工具のみを使用してください。こぼれたものはすぐに拭き取り、廃棄物を安全に処分してください。流出後は管轄当局に連絡してください。

6.4. 他のセクションの参照

暴露制御と個人の保護については8章を、廃棄に関する考慮事項については13章を参照してください。

7. 取り扱いと保管

7.1. 安全な取り扱いのための注意事項

処理時の追加の危険性：空の容器は注意して取り扱ってください。

安全な取り扱いのための注意事項：飲食または喫煙の前、および仕事を離れるときは、手やその他の露出部分を中性洗剤と水で洗ってください。目、皮膚、衣類との長時間の接触を避けてください。蒸気、ミスト、スプレーの吸入を避けてください。静電気放電に対する予防措置を講じてください。火花が出ない工具のみを使用してください。

衛生対策：適切な労働衛生および安全手順に従って取り扱ってください。

7.2. 安全に保管するための条件

技術的対策：適用される規制を遵守します。静電気の放電を防ぐための措置を講じてください。コンテナと受け取り装置を接地して接着します。防爆型の電気、換気、照明設備を使用してください。

保管条件：乾燥した涼しい場所に保管してください。直射日光、極端な高温または低温、および適合しない物質を避けて保管してください。換気の良い場所に保管してください。容器をしっかりと閉めてください。耐火性の場所に保管してください。

適合しない物質：強酸、強塩基、強酸化剤。

7.3. 特定の最終用途

インクとテープのリムーバー。即時使用可能。

8. 暴露管理/個人の保護

8.1. 制御パラメータ

ここに記載されていない、3章に記載されている物質については、製造業者、供給業者、輸入業者、または ACGIH (TLV)、AIHA (WEEL)、NIOSH (REL)、OSHA などの適切な諮問機関から確立された暴露限度はありません。

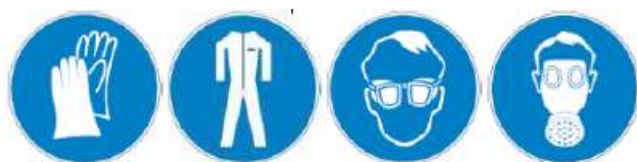
8.2. 露出制御

適切なエンジニアリング制御:

緊急用の洗眼器と安全シャワーを、暴露の可能性のある場所のすぐ近くに用意しておく必要があります。特に狭い場所では十分な換気を確保してください。すべての国/地域の規制が遵守されていることを確認してください。可燃性ガスまたは蒸気が放出される可能性がある場合は、ガス検知器を使用する必要があります。静電気を避けるために適切な手順に従う必要があります。防爆設備を使用してください。

個人用保護具:

手袋。防護服。保護メガネ。換気が不十分: 呼吸用保護具を着用してください。



防護服の素材:

耐薬品性の素材と生地。

手の保護:

保護手袋を着用してください。

目と顔の保護:

化学安全メガネ。

皮膚と体の保護:

適切な防護服を着用してください。

呼吸保護:

暴露限界を超えた場合、または刺激を感じた場合は、承認された呼吸用保護具を着用する必要があります。換気が不十分な場合、酸素が不足している場合、または暴露レベルが不明な場合は、承認された呼吸用保護具を着用してください。

その他の情報:

使用中は飲食、喫煙をしないでください。

9. 物理的および化学的特性

9. 1. 基本的な物理的および化学的性質に関する情報

物理的状态:液体

外觀:無色～淡黄色

臭い:わずかに

臭気閾値:データなし

pH:6-7

蒸発速度:データなし

融点:データなし

凝固点:-146° F (-99°C)

沸点:沸点範囲 361-376° F (183-191°C)

引火点:91°C密閉カップ (196° F)

自然発火温度:734° F (390°C)

分解温度:データなし

可燃性 (固体、ガス) :非該当

蒸気圧:0.004mmHg

20°Cでの相対蒸気密度:2.6

20°Cでの相対密度:1.069

溶解性:水溶性、完全に溶ける

分配係数: N-オクタノール/水:データなし

粘度:11mPa. s (68° F(20°C))

9. 2. その他の情報

追加情報はありません。

10. 安定性と反応性

10. 1. 反応性: 通常の周囲温度および圧力で安定

10. 2. 化学的安定性: 推奨される保管条件下で安定

10. 3. 危険な反応の可能性: 危険な重合は起こりません。

10. 4. 避けるべき条件: 裸火、高温の表面、発火源から遠ざけてください。

10. 5. 適合しない物質: 強酸、強塩基、強酸化剤。

10.6. 危険な分解生成物： 燃焼または熱分解 により、一酸化炭素、二酸化炭素、および未燃の炭化水素が放出されます。

11. 毒性情報

11.1. 毒物学的影響に関する情報

急性毒性

急性経口毒性:LD50:7000mg/kg- ラット。GHS によれば、急性経口毒性の危険性として分類されていません。

急性吸入毒性:LC50:4 時間 (エアロゾル: >5.11mg/l)。 ラット。GHS によれば、急性吸入毒性については危険有害性として分類されていない。

急性経皮毒性:LD50:2000mg/kg ラット。GHS によれば、急性皮膚毒性の危険性は分類されていません。

呼吸器または皮膚感作性:最大化テスト- モルモット。感作性皮膚接触として分類されていない。

発がん性:この製品には、NTP によってヒト発がん性物質の可能性または疑いがあると指定された成分は含まれていません。

生殖毒性:生殖/発生毒性スクリーニング試験 - ラット経口。一般毒性特許 NOAEL :1000 mg/kg。強制経口投与、最高用量で試験したが生殖能力の障害は観察されなかった。

誤嚥の危険性:データなし

12. 生態学的情報

12.1. 毒性

エコロジー - 一般:水生生物に有害ではありません。

12.2. 残留性と分解性

インク&テープ リムーバー	
残留性と分解性	この製品は環境中で急速に分解されるとは考えられていません。

12.3. 生体蓄積の可能性

インク & テープ リムーバー	
生体蓄積の可能性	この物質は、残留性、生体蓄積性、毒性があるとは考えられていません。

12.4. 土壌中の移動性 追加情報はありません。

12.5. その他の悪影響

その他の情報:環境への放出を避けてください。

13. 廃棄上の考慮事項

13.1. 廃棄物の処理方法

廃棄物処理の推奨事項:内容物/容器は、地域、国、および国際的な規制に従って廃棄してください。

追加情報:残留蒸気は引火性があるため、空の容器は慎重に扱ってください。

エコロジー - 廃棄物:環境への放出を避けてください。この物質は水生環境に有害です。下水道や水路には近づけないでください。

14. 輸送情報

ここに記載されている出荷明細は、SDS 作成時の想定に従って作成されており、SDS の発行時に知られていた、または知られていなかった可能性がある多くの変数に基づいて変わる可能性があります。

14.1. DOT に準拠

適切な輸送名:可燃性液体、N. O. S. (ジオキソラン誘導体化合物)

国連番号:NA 1993

識別番号:NA 1993

ラベルコード:3

梱包グループ:III

海洋汚染物:いいえ

ERG 番号:128

14.2. IMDG に準拠
規制されていません。

14.3. IATA に準拠
規制されていません。

15. 規制情報

15.1. 米国連邦規制

インク & テープ リムーバー	
SARA セクション 311/312 の危険クラス	即時（急性）の健康被害 火災の危険

15.2. 米国の州の規制

この製品もその化学成分も、米国の州のリストには掲載されていません。

16. 作成日または最終改訂日を含むその他の情報

作成日または最新の改訂日: 2017/10/24

その他の情報: この文書は、OSHA 危険情報伝達基準 29 CFR 1910.1200 の SDS 要件に従って作成されました。

NFPA

健康状態: 2 中程度

可燃性: 2 中程度

不安定性または反応性: 0 最小限

HMIS

健康状態: 2 中程度

可燃性: 2 中程度

不安定性または反応性: 0 最小限

PPE: ユーザーが決定

この情報は当社の現在の知識に基づいており、健康、安全、環境要件のみを目的として製品を説明することを目的としています。したがって、製品の特定の特性を保証するものとして解釈されるべきではありません。